

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
【発行日】 平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】 特表 2004-527244(P2004-527244A)
【公表日】 平成 16 年 9 月 9 日 (2004.9.9)
【年通号数】 公開・登録公報 2004-035
【出願番号】 特願 2002-577907(P2002-577907)
【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 Q 1/48

【F I】

C 1 2 Q 1/48 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 3 月 7 日 (2005.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 試験化合物を非ヒト哺乳動物である試験対象に投与する段階、
b) 試験対象の体内でキナーゼ受容体活性を刺激する段階、
c) 試験対象から血液又は血漿試料を採取する段階、
d) 段階 c) の試料から試験化合物の濃度を測定する段階、
e) 試験対象から測定可能な量のキナーゼ受容体を含む組織又は血球試料を採取する段階、
f) 試験化合物を加えなかった段階 e) の試料に比較して試料内でリン酸化した受容体の相対比を求める段階、および
g) 段階 c) で測定した試験化合物の血液又は血漿濃度の関数として試験化合物のキナーゼ受容体リン酸化阻害効果を相関させる段階
を含む、試験化合物の循環濃度の関数として特定キナーゼ受容体活性の阻害を測定するインビボ方法。

【請求項 2】

試験対象がマウス、ラット及びイヌ属から構成される群から選択される請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

キナーゼ受容体が F L K 受容体ファミリーのメンバーである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

F L K 受容体が K D R である請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

試験対象がマウス属から選択される請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

組織試料が肺組織である請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

a) 濃度の異なる複数用量の試験化合物をヒト以外の同一哺乳動物種の複数試験対象に各々 1 用量ずつ投与する段階、
b) 各試験対象の体内でキナーゼ受容体活性を刺激する段階、
c) 各試験対象から血液又は血漿試料を採取する段階、

d) 段階 c) の試料から試験化合物の濃度を測定する段階、

e) 測定可能な量のキナーゼ受容体を含有しており、各試験対象で類似起源に由来する組織試料を試験対象から採取する段階、

f) 段階 e) のプラセボ対照と比較して各試料内のリン酸化キナーゼ受容体と非リン酸化キナーゼ受容体の相対比を求める段階、および

g) 段階 c) で測定した試験化合物の血液又は血漿濃度の関数として各対象の段階 e) のキナーゼ受容体リン酸化を相関させ、試験化合物のインビボ IC_{50} 実測値を得る段階を含む、特定キナーゼ受容体に対する試験化合物の IC_{50} を測定するインビボ方法。

【請求項 8】

試験対象がマウス、ラット及びイヌ属から構成される群から選択される請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

キナーゼ受容体が F L K 受容体ファミリーのメンバーである請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

F L K 受容体が K D R である請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

試験対象がマウス属から選択される請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

組織試料が肺組織である請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

a) 第 1 の種と第 2 の種について特定キナーゼ受容体タンパク質のインビトロ酵素 IC_{50} を測定する段階、

b) 第 1 の種のインビトロ細胞反応 IC_{50} 又はキナーゼ受容体 IC_{50} を測定する段階、

c) 段階 a) で測定した第 1 の種のインビトロ酵素 IC_{50} と第 2 の種のインビトロ酵素 IC_{50} の比に段階 b) で測定したインビトロ細胞反応 IC_{50} 又はキナーゼ受容体 IC_{50} を掛け、第 2 の種について特定キナーゼ受容体タンパク質に対する試験化合物の予測インビボ細胞反応又はキナーゼ受容体 IC_{50} を計算する段階を含む、第 2 の種における特定キナーゼ受容体タンパク質に対する試験化合物のインビボ IC_{50} の予測方法。

【請求項 14】

キナーゼ受容体が F L K 受容体ファミリーのメンバーである請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

F L K 受容体が K D R である請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

第 1 の種がヒトである請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

第 2 の種がマウス属に由来する請求項 16 に記載の方法。